



西新潟中央病院

NST NEWS 第48号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2018年3月6日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線5128

NST委員会からのお知らせ ～JSPEN2018 参加報告～

2月22・23日、横浜市のパシフィコ横浜で開催された第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会(JSPEN2018)に、薬剤師の小金澤が参加しました。今回はそこで学んだ栄養療法等について一部ご報告させていただきます。

・シンバイオティクスについて

人間の腸内には多種多様な腸内細菌が生息しており、その種類は500種類以上、数はなんと100兆個以上ともいわれています。この腸内細菌には体に良い善玉菌、体に悪影響を及ぼす悪玉菌、普段は体に影響を及ぼさない日和見菌に分けられ、それぞれのバランスを保つことが健康を維持していくうえで重要となってきます。このバランスを改善し体に良い作用をもたらす乳酸菌やビフィズス菌のことをプロバイオティクス、体内にいる善玉菌の栄養源となるオリゴ糖や一部の食物繊維のことをプレバイオティクスと呼びます。このプロバイオティクス、プレバイオティクスを同時に摂取すること、または同時に含まれている製品はシンバイオティクスと呼ばれており、下痢の予防や症状緩和に繋がるといった報告がありました。

・酸化マグネシウム製剤使用中の食欲不振

酸化マグネシウム製剤(商品名：マグミット®等)を使用している慢性腎臓病(CKD)患者の食欲不振は高マグネシウム血症が原因である可能性があり、血中マグネシウム濃度の測定をすることが望ましいという報告がありました。腎機能が低下している患者は決して少なくなく、また、酸化マグネシウム製剤は浸透圧性下剤として頻用されている薬剤であるため注意する必要があると感じました。

(文責：薬剤部 小金澤 佑太)



会場のパシフィコ横浜です。
すぐ近くによこはまコスモワールドの観覧車が見えます。



中華街の近くだったので食事を取りに行きました。
名物の焼き小籠包を薬剤師の村上調剤主任と一緒にいただきました。



来年は東京で開催予定です。

